

# 緊急営農情報

(水稻営農情報)

第5号 平成25年8月30日発行

福岡大城農業協同組合  
南筑後普及指導センター

大川市の飼料用イネ(WCS)ほ場にて、トビイロウンカ(秋ウンカ)による株枯れが発生しました。普及指導センターの調査では、大木町の「ヒヨクモチ」ほ場でも、トビイロウンカの要防除水準を超えているほ場が見られました。また、近隣他JA管内では、主食用米「夢つくし」で坪枯れが発生しました。今年はトビイロウンカに対する注意が必要です。

## 1 病害虫防除

ほ場の枕との境など、イネの生育が混みあっているところ、葉色が濃いところを中心に株元にいるウンカを払い落とし、要防除水準(100株当たり中老齡幼虫および成虫100頭)を超えている場合は、早急に防除を行います。特に以下のようなほ場は、念入りに観察を行って下さい。

- ①他のほ場より田植えが早かったほ場(特に6/20以前に植えたもの)
- ②他のほ場より葉色が濃いほ場
- ③「ヒノヒカリ」以降の中晩生品種

防除薬剤については、以下の通りです。ラベルをよく読んで散布して下さい(特に夢つくし、元気つくしなどの早生品種は、収穫前日数に注意)

**散布時期 : ウンカが多い場合、早急に防除(出穂期防除と兼ねて可)**

《**本年アプロード剤を散布していない場合**》

アプロードロムダンモンカットF粉剤DLなど

※収穫前日数に注意して散布して下さい。

※散布の際は3cmほど湛水して散布して下さい。(水を溜めている方が、効果が高い。)

《**本年アプロード剤を散布した場合**》

ビームトレモンセレン粉剤DL、スタークル粉剤DLなど

※みつばちの保護のため、出穂開花期にはスタークル剤の散布は行いません。防除時期は穂揃い7日以降となります。

～減・減認証米「つやおとめ」について～

「つやおとめ」では葉色が薄いほ場が多く、トビイロウンカの発生が多いほ場は確認できていませんが、葉色が濃いほ場では坪枯れする可能性があります。ほ場を巡回し、トビイロウンカの発生が多い場合には、「アプロードロムダンモンカット」による防除を行って下さい(粉剤、液剤のどちらでも可)。それ以外の薬剤は使えません。

## 2 台風対策

台風通過時・通過後は、倒伏防止、強風による稲体の水分不足防止のため、できる限りの深水管理を行い、通過後も数日間は水を十分にためておくことが重要です。ただし、倒伏して穂が水に浸かった場合は、すみやかに落水して下さい。